

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	によきによき		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 15日		～ 令和8年 3月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数) 15
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 15日		～ 令和8年 3月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども一人ひとりと保護者への丁寧な関わり	お出かけに参加してくれるご家族が増えて、日々の事なども送迎や連絡帳でこまめに共有して、子どもたちが安心して過ごせる支援が出来ている。	ご家庭によって、もっと連携できるご家庭もあると思うので、もっと連携が取れるように一緒に過ごしていく。
2	職員間の連携・チームワーク	各諸種で連携を取りながら子どもたちと過ごすことが出来る。	情報の共有が出来ていないところもあるので、しっかりと情報を共有して、みんなで子ども達の支援をより良いものにしていけるように努力していきます。
3	安心できる雰囲気・環境づくり	普段の利用の時に、子ども達が安心・安全に楽しく過ごすこと、子ども達のことをみんなが大切に一緒に過ごしていること、みんなが楽しめるプログラムを考えていること。	子ども達だけでなく、大人も安心して楽しく過ごせるように努力していきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	建物の広さ	スペースに限りがある。でも、してあげたいこともたくさんある。	みんなで協力して、それぞれの職種を活かした取り組みが出来て、子ども達も安心して過ごせるようにスペースの作り方を考えていく。
2	生活空間の環境構成	スペースは広げられないですが、構造化など特性のある子どもたちが過ごしやすくするための工夫はまだ出来ることがたくさんある。	生活空間の構造化
3	地域連携	お出かけに出かけることも増えたり、児童館に行ったりしていますが、もっと地域と一緒に子どもたちを育てていけるように努力していきます。	地域との関わりを増やしていく 外部講師を招いて、支援の質を高めていく。